

## 第5 公営企業の業務の状況

### 1 電気事業

#### (1) 令和3年度予算及び経営状況

年間総販売電力量を1億5,400万キロワットアワーと見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益17億6,417万3千円、電気事業費用16億1,245万7千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入2,363万2千円、資本的支出9億9,419万4千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設を着実に推進します。併せて、既設水力発電所の設備更新に合わせたリパワリング（水車ランナの改造等による出力向上）を計画的に推進する取組として、佐波川発電所に係る水車ランナの製作に着手するとともに、徳山発電所に係る供給力増強調査を実施します。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されるので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携などを図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 令和3年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 3 年 度 (A)	令 和 2 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 販 売 電 力 量	153,991 MWH	163,772 MWH	△9,781 MWH

第12表 令和3年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和3年度 当初予算額(A)	令和2年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収益的収入				
電気事業収益	1,764,173	1,866,371	△ 102,198	94.5
営業収益	1,725,996	1,829,196	△ 103,200	94.4
附帯事業収益	27,225	26,172	1,053	104.0
財務収益	550	972	△ 422	56.6
事業外収益	10,399	10,028	371	103.7
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
電気事業費用	1,612,457	1,661,151	△ 48,694	97.1
営業費用	1,568,558	1,585,602	△ 17,044	98.9
附帯事業費用	21,978	22,944	△ 966	95.8
財務費用	3,007	6,441	△ 3,434	46.7
事業外費用	15,911	43,161	△ 27,250	36.9
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	23,632	76,023	△ 52,391	31.1
資本剰余金	21,417	70,388	△ 48,971	30.4
固定資産収入	1	1	0	100.0
雑収入	2,214	5,634	△ 3,420	39.3
資本的支出				
資本的支出	994,194	2,338,746	△ 1,344,552	42.5
建設費用	567,500	315,000	252,500	180.2
改良費用	343,847	491,497	△ 147,650	70.0
投資	1	1	0	100.0
償還金	79,746	129,148	△ 49,402	61.7
長期貸付金	0	1,400,000	△ 1,400,000	0.0
補助金返還金	100	100	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額9億7,056万2千円は、内部留保資金（損益勘定留保資金、減債積立金及び資本的収支調整額）で補てんします。

## (2) 令和2年度下半期の業務の概要

令和2年度は、年間を通じた降雨量が、県下主要ダム（電気事業関連）地点で平年の106.5%と平年を上回りましたが、下半期の渇水に伴い、ダム水位貯留に努めた結果、令和2年度の販売電力量は目標に対して93.1%、電力料金収入は目標に対して96.5%となりました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、電力料金収入の減などにより1,513万2千円の減額補正を、収益的支出予算においては、修繕費の減などにより3,409万6千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において18億5,123万9千円、収益的支出において16億2,601万3千円、資本金収入において3,705万2千円、資本金支出において6億6,434万4千円となりました。

また、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設事業を引き続き実施するとともに、既存水力発電の設備更新に合わせたリパワリングを計画的に推進する取り組みとして、菅野発電所及び生見川発電所に係る最大出力試験を実施し、新たに佐波川発電所及び新阿武川発電所に係る供給力増強調査を実施しました。

**第13表 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)**

区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 2 年 度 末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	2,006,000	129,148	1,848,375	157,625
錦 川 水 系 発 電 所	1,233,000	79,427	1,160,543	72,457
佐 波 川 発 電 所	210,000	13,234	181,925	28,075
木 屋 川 発 電 所	130,000	8,607	123,344	6,656
新 阿 武 川 発 電 所	140,000	7,777	108,058	31,942
末 武 川 発 電 所	293,000	20,103	274,505	18,495
一 時 借 入 金	0	0	0	0

## 2 工業用水道事業

### (1) 令和3年度予算及び経営状況

年間総給水量5億7,200万 $m^3$ と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益72億2,894万1千円、工業用水道事業費用66億9,066万円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入16億74万6千円、資本的支出41億6,863万2千円を計上し、企業債12億4,244万1千円を償還するほか、工業用水の安定した供給に資するため、改良事業として木屋川工業用水道二条化事業などを引き続き実施します。

さらに、新規受水企業や契約水量を増やす企業に対して、引込管設置等の初期費用の支援など需要開拓を図る諸施策に引き続き取り組み、工業用水道事業の経営基盤強化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 令和3年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 3 年 度 (A)	令 和 2 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 給 水 量	572,232,000 $m^3$	570,748,550 $m^3$	1,483,450 $m^3$

第15表 令和3年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和3年度 当初予算額(A)	令和2年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)／(B)
収 益 的 収 入				
工業用水道事業収益	7,228,941	7,145,416	83,525	101.2
営 業 収 益	6,725,842	6,662,088	63,754	101.0
営 業 外 収 益	503,096	483,325	19,771	104.1
特 別 利 益	3	3	0	100.0
収 益 的 支 出				
工業用水道事業費用	6,690,660	6,598,529	92,131	101.4
営 業 費 用	6,350,220	6,273,340	76,880	101.2
営 業 外 費 用	330,437	315,186	15,251	104.8
特 別 損 失	3	3	0	100.0
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	1,600,746	1,622,398	△ 21,652	98.7
企 業 債	1,240,000	1,320,000	△ 80,000	93.9
資 本 剰 余 金	258,606	109,231	149,375	236.8
固 定 資 産 収 入	1	1	0	100.0
雑 収 入	102,139	193,166	△ 91,027	52.9
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	4,168,632	4,528,969	△ 360,337	92.0
改 良 費	2,916,190	3,197,067	△ 280,877	91.2
投 資	1	1	0	100.0
債 還 金	1,242,441	1,321,901	△ 79,460	94.0
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額25億6,788万6千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び資本的収支調整額)で補てんします。

## (2) 令和2年度下半期の業務の概要

令和2年度は、一部地域で渇水に伴う自主節水が行われましたが、安定的に給水することができました。

また、さらなる工業用水の安定供給に資するため、木屋川工業用水道二条化事業などを実施するとともに、需要の開拓、企業債残高の縮減などの経営基盤の強化に取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業収益の減少などにより6,186万5千円の減額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより3億7,077万9千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、企業債の減少などにより4億106万5千円の減額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減少などにより5億5,270万1千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において70億8,355万1千円、収益的支出において62億2,595万8千円、資本的収入において12億2,133万3千円、資本的支出において39億7,626万8千円となりました。

**第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)**

区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 2 年 度 末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	30,699,000	1,321,983	14,148,806	16,550,194
小瀬川工業用水道	1,212,000	61,703	726,710	485,290
向道・川上工業用水道	696,000	36,847	445,243	250,757
周南工業用水道	9,703,000	463,879	4,977,130	4,725,870
佐波川工業用水道	661,000	22,540	171,090	489,910
厚東川工業用水道	5,265,000	216,361	2,129,922	3,135,078
木屋川工業用水道	4,260,000	112,867	1,403,691	2,856,309
富田夜市川工業用水道	1,308,000	76,026	510,351	797,649
厚東川第2期工業用水道	2,150,000	82,332	702,518	1,447,482
厚狭川工業用水道	2,912,000	110,880	1,050,900	1,861,100
木屋川第2期工業用水道	55,000	2,694	54,127	873
末武川工業用水道	51,000	3,405	51,000	0
佐波川第2期工業用水道	29,000	1,953	29,000	0
小瀬川第2期工業用水道	2,397,000	130,496	1,897,124	499,876
一 時 借 入 金	0	0	0	0

### 3 流域下水道事業

#### (1) 令和3年度予算及び経営状況

年間総処理水量を864万 $\text{m}^3$ と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、流域下水道事業収益16億1,843万9千円、流域下水道事業費用16億1,843万9千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入10億3,784万5千円、資本的支出10億3,784万5千円を計上し、汚泥処理施設などの施設の整備や企業債の償還を行います。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第17表 令和3年度流域下水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 3 年 度 (A)	令 和 2 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 処 理 水 量	8,638,154 $\text{m}^3$	9,087,247 $\text{m}^3$	$\Delta$ 449,093 $\text{m}^3$

第18表 令和3年度流域下水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和3年度 当初予算額(A)	令和2年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収 益 的 収 入				
流域下水道事業収益	1,618,439	1,814,427	△ 195,988	89.2
営 業 収 益	665,991	677,304	△ 11,313	98.3
営 業 外 収 益	952,448	1,137,123	△ 184,675	83.8
収 益 的 支 出				
流域下水道事業費用	1,618,439	1,814,427	△ 195,988	89.2
営 業 費 用	1,571,866	1,755,518	△ 183,652	89.5
営 業 外 費 用	46,573	52,921	△ 6,348	88.0
特 別 損 失	0	5,988	△ 5,988	0.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	1,037,845	936,505	101,340	110.8
企 業 債	249,400	252,000	△ 2,600	99.0
国 庫 支 出 金	452,900	364,700	88,200	124.2
負 担 金	335,545	319,805	15,740	104.9
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	1,037,845	936,505	101,340	110.8
建 設 改 良 費	706,817	605,648	101,169	116.7
固 定 資 産 購 入 費	5,876	0	5,876	-
償 還 金	325,152	330,857	△ 5,705	98.3



## (2) 令和2年度下半期の業務の概要

周南流域下水道事業及び田布施川流域下水道事業の実施により生活環境の向上や水質保全に取り組んでいます。

令和2年度は、下水処理場における長寿命化工事などに取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業収益の減少などにより7,622万6千円の減額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより7,622万6千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、国庫支出金の減少などにより5,621万3千円の減額補正を、資本的支出予算においては、建設改良費の減少などにより5,621万3千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において17億3,814万5千円、収益的支出において17億3,814万5千円、資本的収入において8億8,024万8千円、資本的支出において8億8,024万8千円となりました。

**第19表** 企業債及び一時借入金の状況(流域下水道事業)

区 分	発 行 総 額	債 還 額		令 和 2 年 度 末 現 在 高
		令和2年度償還額	償還額累計	
企 業 債	4,917,682	331,007	2,337,756	2,579,926
一 時 借 入 金	0	0	0	0